

【事業名】NRI-CTSのABtCトレーサビリティシステムとの接続のための改修

事業者名：株式会社野村総合研究所

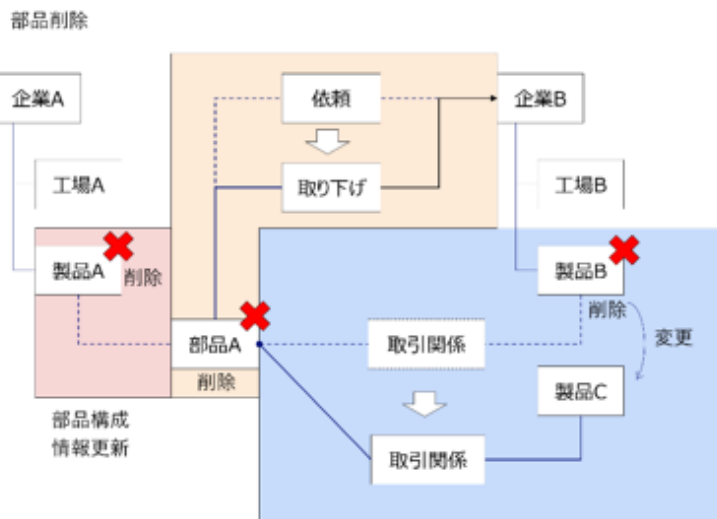
実施期間：令和6年4月～令和6年8月

1. 事業の背景・目的

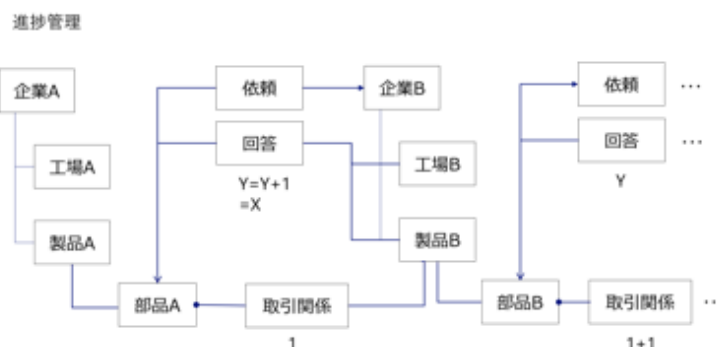
- 『サプライチェーン上のデータ連携の仕組みに関するガイドラインα版』（以下『ガイドライン』）に基づいた「データ流通システム」および「蓄電池のトレーサビリティ管理システム」が実証可能な状態となった時点で、それらと連携してアプリケーション間でCFP情報を流通できることを実証する。

2. 補助事業の概要

- 2024年4月から8月にかけての補助事業期間は、ABtCトレーサビリティシステムに関する現状の不具合やユーザからの改修要望バックログを解消するためのAPIの追加・変更や、アプリケーション側でのトランザクション制限のための改修指示等に対応した。
- また、改修版のアプリケーションを用いて8月28日にユーザーテストを実施した。



- 部品削除機能に関して、部品構成がある場合、依頼がある場合、取引関係がある場合にトレーサビリティシステムから削除できない制約(仕様)がある。そのため、部品表の削除をユーザーが行った場合に各制約状態を確認し、部品構成がある場合は親子関係を更新し、削除可能なようにした。依頼がある場合は、画面上で依頼がある旨のポップアップを出し、ユーザーが依頼画面から依頼を取り消してから部品を削除できるようにした。取引関係がある場合は、代替の部品を選択するポップアップを表示し、選択してから元の部品を削除できるようにした。



- 進捗管理機能に関して、基盤側で取引関係と回答ステータスをチェックし、更新があれば依頼APIにて確認できる。そのため、進捗管理画面を作成し、各部品の依頼に関して依頼APIをコールし、該当項目を画面に出力するように修正した。

- リクエスト状況取得機能に関して、トレーサビリティシステムの各APIの非同期処理に関する修正である。更新と削除の各APIに新規にX-Trackヘッダが追加され、非同期処理完了となるまで繰り返しポーリングを行う修正を行った。これにより適切に非同期処理をアプリ側でハンドリングできるようになった。

	部品名	回答数	取引関係数
依頼開始	部品A	0	0
進捗途中	部品A	Y (*X>Y)	X
回答完了	部品A	X	X

- メッセージ桁数拡張に関しては、1000文字まで記載できるようにアプリケーションの桁数も拡張を行った。また依頼に関して、対応期限の項目が必須となったため、チェック処理を追加した。